

こどもしょくいく しんぶん



新潟市食育・花育推進キャラクター
まいかちゃん

第39号

令和8年7月 食と花の推進課 発行

みんなは、新潟市のおいしいフルーツを何種類知ってる？

きょうは、生産者さんのこだわりのつまった「メロン」について詳しくみていこう！

西区の『メロン』を発見！



西区はここ

新潟市には、メロンが育ちやすい環境がそろっているんだ。
海の近くに広がる砂丘の土は、水はけがよくて根がのびのび育つよ。

さらに、夏は「昼はあたたかく、夜はひんやり。」

この気候の差が、メロンをぐんぐんと甘くしてくれるひみつなんだ。

メロンには、「赤肉メロン」と「青肉メロン」の2つの仲間があるよ。



赤肉メロン

オレンジ色の実をしていて、
甘みが強くとってもジューシー。
皮の近くまで柔らかい果肉が
とくちょうだよ。



青肉メロン

黄緑色の実をしていて、
さっぱりとした甘さだよ。
みずみずしくて、食べやすいのが
とくちょうだよ。

どちらも、新潟市の自然の中でいねいに育てられているよ。
味のちがいをくらべて、お気に入りを見つけてみてね。

西区のメロン農家の眞田さん



メロンを作るうえで
こだわっていることは何ですか？

『おいしい！』と言ってもらえるように、
責任をもって1つ1つ大切に
作っているよ。

みんなに
メッセージをもらったよ♪

農業は、人の食べる物を作る大切な仕事なんだ。
これからも美味しい物を楽しんで作るので、
ぜひ、みんなも沢山食べてね。



メロンの圃場



眞田さんの育てたメロン

メロンができるまで

たね 種まき

はる 春のはじめに、種を
まいて、苗を育てるよ

ていしょく 定植

せいちょう 成長した苗を
はたけ 畑に植えるよ

あか 赤ちゃん発見！
はな 花が終わると、小さな実
ができるよ！



しゅうかく 収穫

きず 傷つけないように、
ていねいに手で収穫するんだ。

がつげじゅん
2月下旬ころ

がつちゅうじゅん
3月中旬ころ

がつげじゅん
4月下旬ころ

がつじょうじゅん げじゅん
7月上旬 ~ 下旬ころ

みつばち交配



ミツバチはメロンの「お手伝いさん」

はな 雄花と雌花があり、それぞれが花粉を
つけたり受け取ったりすることで実になるんだ。だけど、
メロンの花は自分では花粉を運ぶことができないから、
ミツバチが大切な役目をしているよ。

もしミツバチがいなかったら、メロンの花は交配がうまくいかず、実がで
きにくくなってしまうんだ。だから農家さんたちは、ミツバチの大切さを
よく知っていて、花をうまく受粉できるように気をつけているんだよ。



いつもありがと～！

おいしいメロンは

あみめ

網目(ネット)がきれいにでるんだよ



あみめ 網目がきれいに育つためには、メロンが割れないように育てることがとっても大事なんだ。

メロンが大きくなりすぎると、皮が膨らんで、割れちゃうことがあるんだ。

でも、上手に育てると、網目がきれいに育ち、おいしいメロンができるんだよ。

あみめ 網目がきれいなメロン



あみめ 網目が 割れてしまったメロン



メロンは、暑さや雨などのえい
きょうで、水を沢山吸って急に
大きくなったりすると、皮がふ
くらんで割れちゃうんだ。

だから、おいしいメロンを作るためには、水のやり方や、どんな時に成長するかを
上手に見きわめることが大事なんだよ。

ぜひ食べる前に、網目にも注目してみよう！

※これまでのこども食育新聞は、新潟市のホームページから見ることもできるよ！
読んでみたい人は、インターネットから「新潟市 食育新聞」で調べてみてね！

